

PCT/JP00/02647

21.04.00

日 本 国 特 許 庁

PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

09/720356

別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出 願 年 月 日

Date of Application:

1 9 9 9 年 4 月 2 3 日

REC'D 26 JUN 2000

出 願 番 号

Application Number:

平成 1 1 年 特 許 願 第 1 1 7 3 3 1 号

WIPO

PC

出 願 人

Applicant (s):

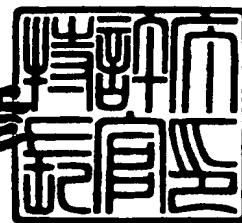
株式会社 ブイ・シンク・テクノロジー

PRIORITY DOCUMENT
SUBMITTED OR TRANSMITTED IN
COMPLIANCE WITH
RULE 17.1(a) OR (b)

2 0 0 0 年 6 月 9 日

特 許 庁 長 官
Commissioner,
Patent Office

近 藤 隆 彦



出 証 番 号 出 証 特 2 0 0 0 - 3 0 4 2 2 8 2

【書類名】 特許願

【整理番号】 P1132005

【提出日】 平成11年 4月23日

【あて先】 特許庁長官 伊佐山 建志 殿

【発明の名称】 カード

【請求項の数】 14

【発明者】

 【住所又は居所】 岡山県岡山市藤田1582番地 株式会社 ブイ・シンク・テクノロジー内

 【氏名】 藤井 克磨

【特許出願人】

 【住所又は居所】 岡山県岡山市藤田1582番地

 【氏名又は名称】 株式会社 ブイ・シンク・テクノロジー

 【代表者】 藤井 克磨

【代理人】

 【識別番号】 100089967

 【住所又は居所】 東京都千代田区神田駿河台1-5-6 コトー駿河台
513

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 和泉 雄一

【手数料の表示】

 【納付書番号】 99000012102

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

【ブルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 カード

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 カード本体と、このカード本体に形成され、楽曲に関連があり、剥離可能に構成された第 1 表示部と、前記カード本体に形成され、前記楽曲と関連があり、剥離可能に構成された第 2 表示部とからなることを特徴とするカード。

【請求項 2】 カード本体と、このカード本体に形成され、ファイル部材に添付するためのものであり、剥離可能に構成された第 1 表示部と、前記カード本体に形成され、剥離可能に構成された第 2 表示部と、前記カード本体に形成され、前記ファイル部材に取り付けるための第 3 表示部とからなることを特徴とするカード。

【請求項 3】 第 3 表示部が、インデックス部である請求項 2 記載のカード

【請求項 4】 カード本体が歌詞カードであり、第 1 表示部は歌詞表示部であり、第 2 表示部は、MD 添付部である請求項 1 又は請求項 2 記載のカード。

【請求項 5】 カード本体が歌詞カードであり、第 1 表示部は歌詞表示部であり、第 2 表示部は MD 添付部であり、第 3 表示部はインデックス部である請求項 2 記載のカード。

【請求項 6】 歌詞カード本体と、この歌詞カード本体に形成され、録音される楽曲に関連があり、剥離可能に構成された第 1 表示部と、前記歌詞カード本体に形成され、前記録音される楽曲と関連があり、剥離可能に構成された第 2 表示部とからなることを特徴とするカード。

【請求項 7】 歌詞カード本体と、この歌詞カード本体に形成され、録音された楽曲に関連があり、ファイル部材に添付するための剥離可能に構成された第 1 表示部と、前記カード本体に形成され、録音された楽曲に関連があり、剥離可能に構成された第 2 表示部と、前記カード本体に形成され、録音された楽曲に関連があり、前記ファイル部材に取り付けるための第 3 表示部とからなることを特

徴とするカード。

【請求項 8】 第 3 表示部が、インデックス部である請求項 7 記載のカード

。

【請求項 9】 第 1 表示部は歌詞表示部であり、第 2 表示部は、MD 添付部である請求項 6 又は請求項 7 記載のカード。

【請求項 10】 第 1 表示部は歌詞表示部であり、第 2 表示部は MD 添付部であり、第 3 表示部はインデックス部である請求項 7 記載のカード。

【請求項 11】 第 1 表示部は、歌詞表示部と併せてジャケット表示部が形成されている請求項 1～請求項 10 の何れか 1 項記載のカード。

【請求項 12】 第 1 表示部には、携帯電話等の呼出メロディーの楽譜等が記載されている請求項 1～請求項 10 の何れか 1 項記載のカード。

【請求項 13】 第 1 表示部に加えて、歌詞カード本体に形成され、剥離可能に構成された第 4 表示部が形成されている請求項 1～請求項 12 の何れか 1 項記載のカード。

【請求項 14】 第 4 表示部が、販売店のサービスシール等となっている請求項 13 記載のカード。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】

本発明は歌詞カードに係わり、特に、通信回線を利用した音楽ソフトウェアのミニディスク等の録音システムに最適な歌詞カードに関するものである。

【0002】

【従来の技術】

情報処理装置の飛躍的发展により、通信技術が単なる音声情報の伝達から、多種多様な用途のシステムに応用されている。

【0003】

近年、デジタル通信回線等を利用して、音楽ソフトウェアを供給し、各端末装置でブランクミニディスク（MD）に録音するシステムが提案されている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、単なる通信回線等を利用した音楽ソフトウェアの供給のみでは、
付加価値が低く、今後に予想される厳しい競争に打ち勝つことは不可能である。

【0005】

そこで、単なる通信回線等を利用した音楽ソフトウェアの供給だけではなく、
高い付加価値を有するサービスの実現が強く望まれていた。

【0006】

【課題を解決するための手段】

本発明は上記課題に鑑み案出されたもので、カード本体と、このカード本体に
形成され、楽曲に関連があり、剥離可能に構成された第1表示部と、前記カード
本体に形成され、前記楽曲と関連があり、剥離可能に構成された第2表示部とから
構成されている。

【0007】

また本発明は、カード本体と、このカード本体に形成され、ファイル部材に添
付するためのものであり、剥離可能に構成された第1表示部と、前記カード本体
に形成され、剥離可能に構成された第2表示部と、前記カード本体に形成され、
前記ファイル部材に取り付けるための第3表示部とから構成されている。

【0008】

更に本発明は、第3表示部をインデックス部とすることもできる。

【0009】

そして本発明のカード本体が歌詞カードであり、第1表示部は歌詞表示部であ
り、第2表示部は、MD添付部とする構成にすることもできる。

【0010】

また本発明のカード本体が歌詞カードであり、第1表示部は歌詞表示部であり
、第2表示部はMD添付部であり、第3表示部はインデックス部とする構成にす
ることもできる。

【0011】

そして本発明は、歌詞カード本体と、この歌詞カード本体に形成され、録音さ

れる楽曲に関連があり、剥離可能に構成された第 1 表示部と、前記歌詞カード本体に形成され、前記録音される楽曲と関連があり、剥離可能に構成された第 2 表示部とから構成されている。

【 0 0 1 2 】

更に本発明は、歌詞カード本体と、この歌詞カード本体に形成され、録音された楽曲に関連があり、ファイル部材に添付するための剥離可能に構成された第 1 表示部と、前記カード本体に形成され、録音された楽曲に関連があり、剥離可能に構成された第 2 表示部と、前記カード本体に形成され、録音された楽曲に関連があり、前記ファイル部材に取り付けるための第 3 表示部とから構成されている。

【 0 0 1 3 】

また本発明の第 3 表示部が、インデックス部である構成にすることもできる。

【 0 0 1 4 】

そして本発明の第 1 表示部は歌詞表示部であり、第 2 表示部は、MD 添付部である構成にすることもできる。

【 0 0 1 5 】

更に本発明の第 1 表示部は歌詞表示部であり、第 2 表示部は MD 添付部であり、第 3 表示部はインデックス部である構成にすることもできる。

【 0 0 1 6 】

また本発明の第 1 表示部は、歌詞表示部と併せてジャケット表示部が形成されている構成にすることもできる。

【 0 0 1 7 】

そして本発明の第 1 表示部には、携帯電話等の呼出メロディーの楽譜等が記載されている構成にすることもできる。

【 0 0 1 8 】

更に本発明は、第 1 表示部に加えて、歌詞カード本体に形成され、剥離可能に構成された第 4 表示部を形成した構成にすることもできる。

【 0 0 1 9 】

また本発明の第 4 表示部は、販売店のサービスシール等とする構成にすること

もできる。

【 0 0 2 0 】

【発明の実施の形態】

以上の様に構成された本発明は、カード本体に形成され楽曲に関連がある第 1 表示部を剥離可能とし、カード本体に形成され楽曲と関連がある第 2 表示部を剥離可能としている。

【 0 0 2 1 】

また本発明は、カード本体に形成されファイル部材に添付するためのものである第 1 表示部を剥離可能とし、カード本体に形成された第 2 表示部を剥離可能とし、カード本体に形成された第 3 表示部をファイル部材に取り付けることができる。

【 0 0 2 2 】

更に本発明は、第 3 表示部をインデックス部とすることもできる。

【 0 0 2 3 】

そして本発明のカード本体が歌詞カードであり、第 1 表示部は歌詞表示部であり、第 2 表示部は、MD 添付部とすることもできる。

【 0 0 2 4 】

また本発明のカード本体が歌詞カードであり、第 1 表示部は歌詞表示部であり、第 2 表示部は MD 添付部であり、第 3 表示部はインデックス部とすることもできる。

【 0 0 2 5 】

そして本発明は、歌詞カード本体に形成され録音される楽曲に関連がある第 1 表示部を剥離可能とし、歌詞カード本体に形成され録音される楽曲と関連がある第 2 表示部を剥離可能としている。

【 0 0 2 6 】

更に本発明は、歌詞カード本体に形成され録音された楽曲に関連があり、ファイル部材に添付するための第 1 表示部を剥離可能とし、カード本体に形成され録音された楽曲に関連がある第 2 表示部を剥離可能とし、カード本体に形成され録音された楽曲に関連がある第 3 表示部をファイル部材に取り付けることができる

【0027】

また本発明の第3表示部が、インデックス部とすることもできる。

【0028】

そして本発明の第1表示部は歌詞表示部であり、第2表示部は、MD添付部とすることもできる。

【0029】

更に本発明の第1表示部は歌詞表示部であり、第2表示部はMD添付部であり、第3表示部はインデックス部とすることもできる。

【0030】

また本発明の第1表示部は、歌詞表示部と併せてジャケット表示部を形成することもできる。

【0031】

そして本発明の第1表示部には、携帯電話等の呼出メロディーの楽譜等を記載することもできる。

【0032】

更に本発明は、第1表示部に加えて、歌詞カード本体に形成された第4表示部を剥離可能に形成することもできる。

【0033】

また本発明の第4表示部は、販売店のサービスシール等とすることもできる。

【0034】

【実施例】

【0035】

本発明の実施例を図面に基づいて説明する。

【0036】

図1は、本実施例の歌詞カード1000を示すもので、歌詞表示部100と、ジャケット表示部200と、MD添付部300と、インデックス部400とが形成されている。なお歌詞カード1000は、カード本体に該当するものである。

【0037】

歌詞カード 1000 は、端末機 10000 に内蔵されたプリンタ手段 2000 で印刷可能なシートから形成されている。歌詞カード 1000 の材質は、プリンタ手段 2000 の印刷形式で印刷可能となる材料であれば、何れの材質を採用することができる。

【0038】

歌詞表示部 100 は、MD（ミニディスク）20000 に録音された楽曲の歌詞が印刷されている。なお、MD（ミニディスク）20000 に録音された楽曲とは、特許請求の範囲にある「楽曲に関連がある」ことに相当するものである。

【0039】

ジャケット表示部 200 は、歌詞表示部 100 に表示された楽曲が録音された CD（コンパクトディスク）等のジャケットに表示された画像に相当する図柄が印刷されている。

【0040】

本実施例では、歌詞表示部 100 とジャケット表示部 200 とが、剥離可能となっており、歌詞表示部 100 とジャケット表示部 200 との裏面部には、適宜の接着剤又は粘着剤が塗布されており、図 2 に示すファイル 30000 に収納することができる。

【0041】

ファイル 30000 は、複数の基板 31000、31000・・・が、綴じ込み部材 32000 により、綴じ込み自在に構成されている。なお、ファイル 30000 はファイル部材に該当するものである。

【0042】

本実施例では、歌詞表示部 100 とジャケット表示部 200 とを、ファイル 30000 の基板 31000 に貼り付けることができる。

【0043】

なお本実施例では、歌詞表示部 100 とジャケット表示部 200 とが一体化されているが、歌詞表示部 100 とジャケット表示部 200 とを分離させ、それぞれ単独に歌詞表示部 100 又はジャケット表示部 200 をファイル 30000 の基板 31000 に貼り付けることができる。

【0044】

MD添付部300は、本実施例では、歌詞表示部100に表示された楽曲を演奏しているアーティストの顔写真が印刷されている。なおMD添付部300は、アーティストの顔写真に限ることなく、該当する楽曲が録音されたCD（コンパクトディスク）等のジャケットの画像や、楽曲の曲名等を印刷することもできる。

【0045】

MD添付部300は、歌詞表示部100とジャケット表示部200と同様に、剥離可能となっており、MD添付部300の裏面部には、適宜の接着剤又は粘着剤が塗布されており、図3に示すMD（ミニディスク）20000の適宜の場所にMD添付部300を貼り付けることができる。

【0046】

そしてインデックス部400には、歌詞表示部100に表示された楽曲の曲名や、該当する楽曲が録音されたCD（コンパクトディスク）等のジャケットの画像等が印刷されている。

【0047】

インデックス部400は、歌詞表示部100やジャケット表示部200、MD添付部300と同様に、剥離可能となっており、インデックス部400の裏面部には、適宜の接着剤又は粘着剤が塗布されている。

【0048】

そして図2に示す様に、インデックス部400は、歌詞表示部100とジャケット表示部200とが貼り付けられたファイル30000の基板31000の側部に取り付けることができる。

【0049】

なお、歌詞表示部100及びジャケット表示部200とは第1表示部に該当し、MD添付部300は第2表示部に該当し、インデックス部400は第3表示部に該当する。

【0050】

また歌詞カード1000には、販売店のサービスシール500を形成すること

もできる。販売店のサービスシール 5 0 0 は、歌詞表示部 1 0 0 やジャケット表示部 2 0 0、MD 添付部 3 0 0 と同様に、剥離可能となっており、販売店のサービスシール 5 0 0 の裏面部には、適宜の接着剤又は粘着剤が塗布されている。

【 0 0 5 1 】

そして販売店のサービスシール 5 0 0 は、第 4 表示部に該当するものであり、店舗のサービススタンプと同様に、顧客が収集すると割引サービスやノベルティ等のプレゼントサービス等を提供することができる。更に、販売店のサービスシール 5 0 0 は、フランチャイズや店舗等のロゴ、サービスマーク等を表示することも可能である。

【 0 0 5 2 】

以上の様に構成された本実施例の作用を説明する。

【 0 0 5 3 】

本実施例のシステム全体の概略を図 4 に基づいて説明する。

【 0 0 5 4 】

本システムは、端末機 1 0 0 0 0 と、ホストコンピュータ 4 0 0 0 0 と、通信回線 5 0 0 0 0 とから構成されている。

【 0 0 5 5 】

端末機 1 0 0 0 0 は、プリンタ手段 2 0 0 0 と、演算処理手段 3 0 0 0 と、コイン識別手段 4 0 0 0 と、入力手段 5 0 0 0 と、表示手段 6 0 0 0 と、音声出力手段 7 0 0 0 と MD 録音機 8 0 0 0 とから構成されている。

【 0 0 5 6 】

プリンタ手段 2 0 0 0 は、歌詞カード 1 0 0 0 にカラー印刷を行うためのもので、何れの方式のプリンタを使用することができる。

【 0 0 5 7 】

演算処理手段 3 0 0 0 は、通信回線 5 0 0 0 0 を介してホストコンピュータ 4 0 0 0 0 と接続されるものである。演算処理手段 3 0 0 0 は、CPU を含み、通信制御、端末機 1 0 0 0 0 全体の制御等を司るものである。

【 0 0 5 8 】

コイン識別手段 4 0 0 0 は、使用者が、利用料を納付したことを識別するため

のものである。なお本明細書では、コイン識別とは、硬貨に限らず、紙幣、プリペイドカード等、利用料の納付を確認できるものであれば、何れのものも含むものとする。

【 0 0 5 9 】

入力手段 5 0 0 0 は、利用者が、MD 2 0 0 0 0 に録音すべき曲名を選択したり、曲名を決定するために、アーティスト名等から検索作業を行うためのものである。本実施例では、適宜のタッチパネルが採用されている。

【 0 0 6 0 】

表示手段 6 0 0 0 は、本実施例では、適宜のディスプレイ手段が使用されており、使用方法の説明や、楽曲リスト、楽曲検索画面等を表示するためのものである。

【 0 0 6 1 】

音声出力手段 7 0 0 0 は、利用者に楽曲を視聴させたり、BGM（バックグラウンドミュージック）や、操作時の効果音等を発生させるためのものである。

【 0 0 6 2 】

MD録音機 8 0 0 0 は、MD 2 0 0 0 0 に対して、利用者が決定した楽曲を録音するためのものである。

【 0 0 6 3 】

通信回線 5 0 0 0 0 は、端末機 1 0 0 0 0 とホストコンピュータ 4 0 0 0 0 とを接続するためのもので、本実施例では、デジタル回線が使用されているが、所望の機能が実現できれば何れの通信回線を利用することができる。

【 0 0 6 4 】

なお、端末機 1 0 0 0 0 は複数にすることができることは勿論であり、端末機 1 0 0 0 0 とホストコンピュータ 4 0 0 0 0 とを結ぶシステムも適宜変更可能である。

【 0 0 6 5 】

以上の様に構成された本実施例は、利用者が、コイン識別手段 4 0 0 0 に利用料を納付する。演算処理手段 3 0 0 0 は、コイン識別手段 4 0 0 0 から利用料の納付を確認し、MD録音作業の動作を開始する。

【0066】

演算処理手段3000は、表示手段6000に楽曲リストを表示する。使用者は、表示手段6000からMD20000に録音を希望する楽曲を選択し、入力手段5000より入力する。

【0067】

演算処理手段3000は、入力手段5000からの選択信号に基づいて、通信回線50000を介してホストコンピュータ40000から、楽曲データ等を取り込む。そして演算処理手段3000は、取り込まれた楽曲データをMD20000に記録する。

【0068】

次に演算処理手段3000は、プリンタ手段2000を駆動して、利用者が選択した楽曲に基づき、歌詞カード1000の印刷を行う。

【0069】

歌詞カード1000の歌詞表示部100には、MD（ミニディスク）20000に録音された楽曲の歌詞を印刷する。更に、ジャケット表示部200には、歌詞表示部100に表示された楽曲が録音されたCD（コンパクトディスク）等のジャケットに表示された画像に相当する図柄を印刷する。

【0070】

またMD添付部300には、歌詞表示部100に表示された楽曲を演奏しているアーティストの顔写真を印刷し、インデックス部400には、歌詞表示部100に表示された楽曲の曲名や、該当する楽曲が録音されたCD（コンパクトディスク）等のジャケットの画像等を印刷する。

【0071】

これらの印刷が完了したら、端末機10000より歌詞カード1000を排出する。

【0072】

利用者は、印刷が完了した歌詞カード1000から、歌詞表示部100とジャケット表示部200とを剥離し、ファイル30000の基板31000に貼り付ける。

【 0 0 7 3 】

更に利用者は、印刷が完了した歌詞カード 1 0 0 0 からインデックス部 4 0 0 を剥離し、歌詞表示部 1 0 0 とジャケット表示部 2 0 0 とが貼り付けられたファイル 3 0 0 0 0 の基板 3 1 0 0 0 の側部に取り付ける。

【 0 0 7 4 】

そして利用者は、印刷が完了した歌詞カード 1 0 0 0 から MD 添付部 3 0 0 を剥離し、録音が完了した MD (ミニディスク) 2 0 0 0 0 の適宜の部分に貼り付ける。

【 0 0 7 5 】

以上の様に構成された本実施例は、録音する楽曲毎に、上記動作を繰り返すことになり、録音した楽曲分の歌詞カード 1 0 0 0 を得ることができる。そして、複数の歌詞表示部 1 0 0 とジャケット表示部 2 0 0 とが貼り付けられた基板 3 1 0 0 0 をファイル 3 0 0 0 0 に綴じ込むことができ、インデックス部 4 0 0 が取り付けられているので、検索も容易となるという効果がある。

【 0 0 7 6 】

なお、歌詞カード 1 0 0 0 の歌詞表示部 1 0 0 と、ジャケット表示部 2 0 0 と、MD 添付部 3 0 0 と、インデックス部 4 0 0 とは、上記の例の印刷に限ることなく、適宜の印刷を施すことができる。

【 0 0 7 7 】

そして録音媒体は、MD (ミニディスク) 2 0 0 0 0 に限らず、何れの録音媒体を使用できる。

【 0 0 7 8 】

更に、歌詞表示部 1 0 0 には、携帯電話等の呼出メロディーの楽譜等にすることも可能である。

【 0 0 7 9 】

【効果】

以上の様に構成された本発明は、カード本体と、このカード本体に形成され、ファイル部材に添付するためのものであり、剥離可能に構成された第 1 表示部と、前記カード本体に形成され、剥離可能に構成された第 2 表示部と、前記カード

本体に形成され、前記ファイル部材に取り付けるための第 3 表示部とから構成されているので、ファイルに綴じ込むことが容易となり、付加価値のあるカードを提供することができるという効果がある。

【0080】

更に本発明は、歌詞カード本体と、この歌詞カード本体に形成され、録音された楽曲に関連があり、ファイル部材に添付するための剥離可能に構成された第 1 表示部と、前記カード本体に形成され、録音された楽曲に関連があり、剥離可能に構成された第 2 表示部と、前記カード本体に形成され、録音された楽曲に関連があり、前記ファイル部材に取り付けるための第 3 表示部とから構成されているので、歌詞カードをファイルに綴じ込み、整理することができる上、MD 等の記録媒体に画像、曲名等を貼り付けることができるという効果がある。

【0081】

【図面の簡単な説明】

【図 1】

本発明の実施例である歌詞カード 1000 を説明する図である。

【図 2】

本発明の実施例であるファイル 30000 の斜視図である。

【図 3】

MD を説明する図である。

【図 4】

本実施例の構成を説明する図である。

【符号の説明】

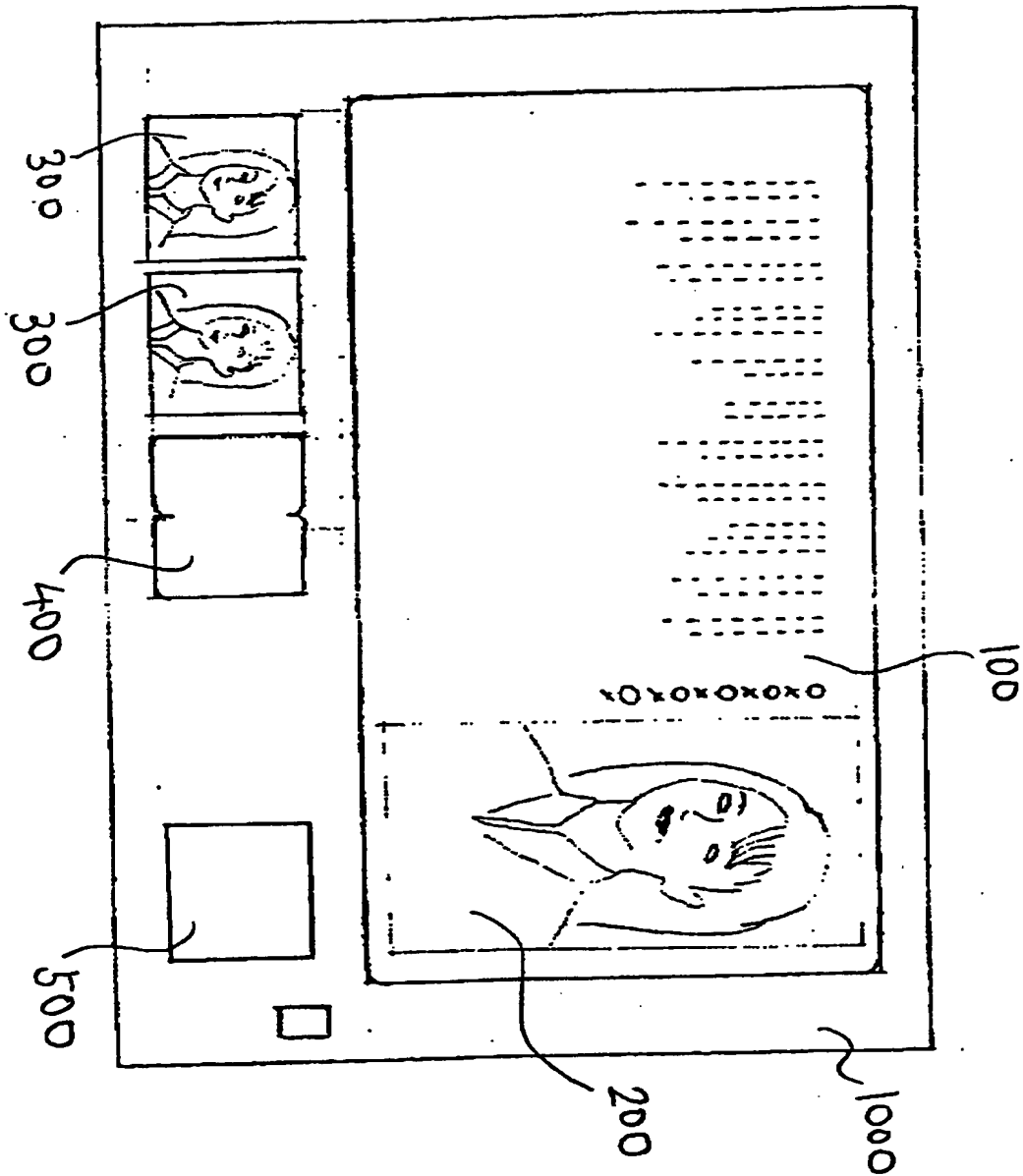
- 10000 端末機
- 20000 MD (ミニディスク)
- 30000 ファイル
- 31000 基板
- 32000 綴じ込み部材

4 0 0 0 0 ホストコンピュータ
5 0 0 0 0 通信回線
1 0 0 0 歌詞カード
1 0 0 歌詞表示部
2 0 0 ジャケット表示部
3 0 0 MD添付部
4 0 0 インデックス部
5 0 0 販売店のサービスシール
2 0 0 0 プリンタ手段
3 0 0 0 演算処理手段
4 0 0 0 コイン識別手段
5 0 0 0 入力手段
6 0 0 0 表示手段
7 0 0 0 音声出力手段
8 0 0 0 MD録音機

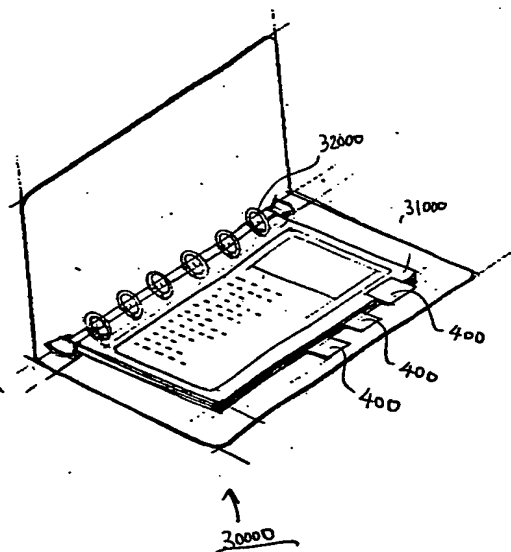
特平 1 1 - 1 1 7 3 3 1

【書類名】 図面

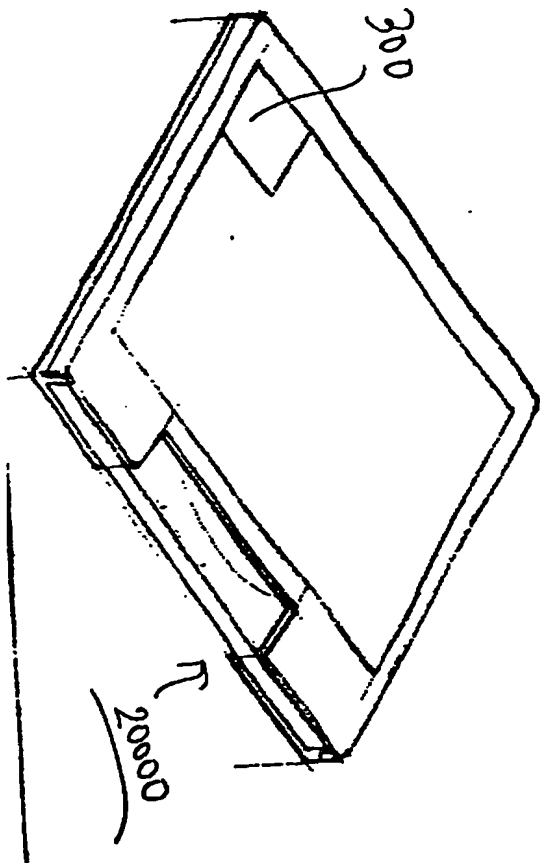
【図 1】



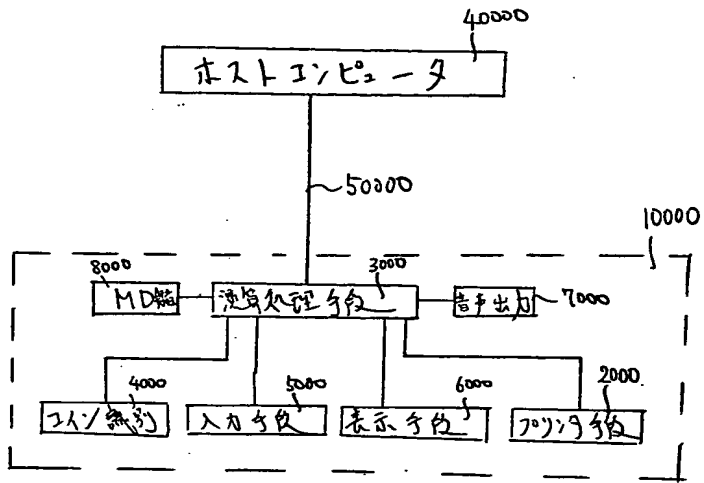
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【書類名】 要約書

【要約】

【目的】 本発明は歌詞カードに係わり、特に、通信回線を利用した音楽ソフトウェアのミニディスク等の録音システムに最適な歌詞カードを提供することを目的とする。

【構成】 本発明は、歌詞カード本体に形成され録音された楽曲に関連があり、ファイル部材に添付するための第 1 表示部を剥離可能とし、カード本体に形成され録音された楽曲に関連がある第 2 表示部を剥離可能とし、カード本体に形成され録音された楽曲に関連がある第 3 表示部をファイル部材に取り付けることができる。

【選択図】

図 1

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [397065550]

1. 変更年月日	1997年10月20日
[変更理由]	新規登録
住 所	岡山県岡山市藤田1582番地
氏 名	株式会社ブイ・シンク・テクノロジー